



# やまだ

## 議会だより

# No.108

2005.4.15発行



3 月  
定例会

3月定例会のあらまし 2P

町の考えを聞く 5P

17年度予算を探る(予算特別委員会) 18P

議会アラカルト  
(議員定数検討特別委員会中間報告) 23P

インタビュー(傍聴席からひとこと) 24P

## 夢と希望を胸に初登校

4月7日、大沢小学校(渡邊真龍校長)の入学式が行われ、新1年生28人(男16人、女12人)が元気に初登校しました。今年の町内全体の新入学児童は204人(男102人、女102人)です。

# どのようについに生かすか

# 新年度予算総額132億円



山田町内各漁協の協力のもと実施された「山田カギまつり」新たな水産業の振興策として期待されます

三月定例会は、二月二十二日から三月十一日まで十八日間の会期で開かれました。初日には平成十七年度の町長施政方針と教育行政に関する所信が示され、一般質問（五ツノ十七ツノに掲載）には十四人が登壇し、防災対策や産業振興策など幅広く町政について質問しました。町からは、人事行政の運営等の状況の公表に関する条例や手数料条例の一部改正案などの条例十三件、補正予算八件、それに新年度予算九件などを含む三十四件が提案。総額百三十二億円を超える新年度予算は四日間の予算特別委員会での審議の結果、すべて原案どおり可決されました。最終日には追加提案された議員発議の意見書などを可決し、十八日間の会期を閉じました。

## 町長施政方針

## 町民との協働で新たな地平を切り開く

三月定例会初日の二月二十二日、平成十七年度の町長施政方針と教育行政に関する所信が示されました。施政方針の中で沼崎町長は「昨年七月、町民の負託を受け、二期目の町政の重責を担うことになった。今

年は第七次山田町総合発展計画の最終年度でもあり、各事業の目標達成に向け努力を積み重ねていく。また、山田町が合併して五十周年の節目の年である。「ふるさと山田」の歴史の重さを思い、次の世代に引き継ぐ

ため、私達町民の決意を改めて確認する機会にしたい。この節目の年は、来年度から始まる第八次総合発展計画を策定する年でもある。地方自治を取り巻く環境は依然として厳しいが町民の『参画』を得て、知恵と情熱を織り込むべく全力を傾注する。わずか数年前ですら予測もつかなかった厳しい環境に置かれているが、この激流に的確に対応し、地

方分権や財政の厳しさに応じた改革を進め、地域にとって必要な課題に積極果敢に挑戦する気持ちを失わず、町民との協働の作業を重ね新たな地平を切り拓いていく決意である」と協働できる新しい町づくりのため、町政を推進することを

表明しました。これに対し、議員十二人が一般質問に立ち防災対策や産業振興策、高齢者対策など幅広く質問。一方、教育行政に関する所信には議員六人が登壇、教育問題や学力問題など活発な議論が展開されました。

## 一般会計当初予算は72億円

本定例会には、一般会計をはじめ国民健康保険特別会計など九会計で総額百三十二億円におよぶ平成十七年度予算が提案されました。議会は予算特別委員会を設置し、四日間に及ぶ審議の末、これを原案どおり可決しました。

れる一年間に必要な予算を当初の段階から全て盛り込んだ形で編成されている点の特徴となっています。主な事業は次のとおりです。情報化推進費（繫地区のテレビ難視聴解消事業補助金など）：千七百七十八万円

## 3月定例会のあらまし

一般会計は歳入・歳出それぞれ総額七十一億六千六百四十五万円。国の引き続く「改革断行予算」や地方財政対策における歳出規模の抑制の方針に沿って歳出経費の圧縮に努め、前年度に対し金額で三億九千九百三十万円、率で五・三％の減。全体的には、扶助費以外は全て減額の予算となっています。

- ・畜産振興費（堆肥センター）出荷施設工事費など）：六千九百十五万円
- ・水産振興費（漁業経営構造改善事業補助金など）：三千五百九十五万円
- ・道路新設改良費（長林大浦線改良事業など）：五千一百万円
- ・教育振興費（山田北・山田南・大浦小学校の教育用パソコン整備など）：三千九百六十四万円

## 手数料条例・火葬場条例を改正

また、印鑑登録証の交付は、

火葬場条例の改正は、昭



4月1日から印鑑登録証が有料となります 役場住民生活課（総合窓口）

### ◆手数料の改定表

	単 位	改正前(円)	改正後(円)
住 民 票	1通分 (1人分)	200	300
住民票記載事項証明	1人分	200	300
戸籍附票の写し	1 枚	200	300
印 鑑 証 明 書	1 通	200	300
身 分 証 明 書	1 通	200	300
印鑑登録手数料	1 件	0	500
所 得 証 明	1 通	200	300
資 産 証 明	1 筆	200	300
納 税 証 明	1税目	200	300
埋火葬許可証	1 件	0	300
改 葬 許 可 証	1 件	0	300

### ◆火葬場使用料の改定表

	改正前(円)	改正後(円)
○山田町の住民の場合		
16歳以上	3,000	5,000
16歳未満	2,500	4,000
死 産 児	2,000	3,000
上記以外	1,000	3,000
○山田町以外の方の場合		
16歳以上	4,500	15,000
16歳未満	3,500	12,000
死 産 児	3,000	10,000
上記以外	2,000	10,000

手数料条例の一部改正案と火葬場条例の一部改正案が提案され、原案どおり可決されました。これにより、四月一日から住民票や印鑑証明などの手数料や火葬場の使用料が左表のとおり改正されることとなります。手数料改正の内容は、諸証明発行手数料については、住民の利益の保護を図るため、偽造防止機能を備えた証明書用紙に変更するため増額となります。

その利用の重要性を考慮有りに、埋火葬許可証と改葬許可証の交付についても、県内近隣市町村との均衡を図るため有料となります。

和五十一年三月制定以来、現在まで使用料の見直しを行わなかったが、県内近隣市町村の状況を調査し、均衡を図るために改正されるものです。

# 一般会計に1億167万円を追加

町一般会計に一億百六十七万円を追加し、予算総額を七十九億四千八十八万円とするなど十六年度の補正予算八件が提案され、審議の結果すべて原案どおり可決されました。今回の補正は補助事業の確定にともなう事業の調整や歳出全般の精査による所要額の増減、財政調整基金及び減債基金繰入金の減額などが主な骨子で、補正の主なものと質

疑概要は次のとおりです。

- ▼ 財政調整基金繰入金…七千万円の減
- ▼ 減債基金繰入金…一億円の減
- ▼ 道路新設改良費…千五百六十万円の減
- ▼ 町営住宅建設費…千九百六十七万円の減
- ▼ 公債費(元金)…一億七千九十九万円の増

**問** タバコ税の収入の見通しは。コンビニなどでの販売も町の財源となるか。  
**答** 本数的には減っているが、十五年の値上げにより増となっている。支店による販売でも、地元で売り上げた分は町の財源となる。  
**問** 人づくり事業の海外研修はどうなるのか。  
**答** 町民のオランダ派遣は、三年から四年サイクルで考えている。  
**問** 水産加工業振興協会はどうなっているか。  
**答** 現在の組織は解散しているが、青年部を中心に新たな組織が設立される見込みである。いい方向に進むよう支援していく。

## ■ 寒冷地手当の支給を廃止

昨年の人事院勧告で寒冷地手当の全面的な見直しが行われ、近隣の宮古市、大槌町、釜石市が支給解除地域となりました。本町の場合は、支給解除地域ではありませんでしたが、現在の厳しい財政状況や近隣の宮古市や大槌町が支給解除地域になったことを総合的に判断し、寒冷地手当の支給を解除しようとするものです。

## ■ 人事行政の運営状況を公表

「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」が新たに制定されました。これは、地方分権の進展に対応し、公務の能率的運営の推進、計画的な人材の育成、人事行政運営の公平性と透明性の確保を図るため、職員の任用、給与、勤務時間、分限、懲戒などの状況を住民に公表するためのものです。

## ■ 職員の旅費、費用弁償の支給額を見直し

財政運営の健全化を図るため、職員などの旅費の見直しを行うもので、町長、議員の旅費の見直しも行われました。

## ■ 山田町公共下水道終末処理場用地を取得

山田町公共下水道の終末処理場用地を取得することが決まりました。場所は柳沢地区の山田自動車道の北側に位置する場所です。

## ■ 町長・助役・教育長、議会議員の給与を引き下げ

厳しい経済情勢が依然続いていることから、給与の減額を昨年度に引き続き行うことが決まりました。これによる減額の総額は約440万円となります。減額内容は次のとおり。

- ◇ 町長：給料月額10%削減
- ◇ 助役、教育長：給料月額8%削減
- ◇ 議会議長：月額7,000円減額
- ◇ 議会副議長：月額6,000円減額
- ◇ 議会議員：月額5,000円減額

## ■ 議員発議の意見書1件を原案可決

次の意見書が議員発議され、原案どおり可決。その後、政府関係機関へ提出されました。

- 道路特定財源制度の堅持を求める意見書  
 地方の道路整備の重要性を認め、道路特定財源制度を堅持し、全額を道路整備に充当するよう求めるものです。

## 税などの督促手数料を改定

**町税条例、介護保険条例、水道事業業給水条例の一部が改正され、四月一日から督促手数料が現行五十円から百円に改定されることになりました。**  
**この改正は、現行の督促手数料が督促状の発送に係る郵便料金と同額である**  
**ことから、印刷費などの経費を確保するため改定しようとするもので、住民税など地方税、水道使用料、介護保険料の未納に係る督促手数料が対象となります。**  
 ◇ ◇ ◇  
**その他可決された条例は次のとおりです。**  
 ▽ 職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部改正  
 ▽ 山田町監査委員条例の一部改正  
 ▽ 町営住宅の設置及び管理等に関する条例の一部改正



総合的な学習の時間で行われた山田  
中学校の生徒による職場体験の様子



吉川淑子議員

## ゆとり教育

# 総合的な学習の時間配分は

## 改定されるまで現在のまま

### 質問

文部科学省は、今年になり学力低下に関連し基礎的教科（国語・算数）を重視すべきとの考えを示し、ゆとり教育の掲げる「総合的な学習の時間」を見直す検討を始めた。

県では、緊縮財政にも関わらず、学力向上プロジェクトの事業費を伸ばしており、学力向上に重点を置く取り組みとなるようだ。

三年前に導入された総合的学習の時間の配分は、今後どうなるのか。

**松尾教育長** 二月に行われた中央教育審議会総会で、文部科学大臣は、学習指導要領の授業時間数の見直しについて、各教科と総合的学習の時間数のあり方の検討を求められた。

これは、学習指導要領の理念や目標に誤りはないが、そのねらいが十分達成されているか、必要な手立てが講じられているか、ということに課題があると考えて

のことである。

このことにより、総合的学習はなくなるが、各教科も含めて授業時間数の

検討がされると考えている。学習指導要領が改定されるまでは、現在の時間数のまま実施されることになる。

## 高齢者福祉

# 敬老会はなくなるのか

## 方向性は決まっていない

### 質問

敬老会のあり方について、来年度以降の事業の参考にするため各地で見聞き協議しているようだ。世間では、敬老会がなくなるとか、お座敷広場をもつと充実させたほうが良いなど、さまざまな話が聞かれる。調査結果はどうであったか。また、その方向性は。

**沼崎町長** 「敬老会、金婚式」の出席率が三五割前後で推移していることから、開催方法などを含めた今後

のあり方を検討するため、関係する団体の意見を聞くための説明会を一月から二月二十二日まで延べ二十七回開催し、アンケート調査などへの協力をお願いしてきた。

調査結果は、未提出の地区もあり最終集計できていないが、まとめ次第、内容を分析し、今後のあり方を検討することになっている。現時点での方向性は、説明できる状況にはない。

## 町の考えを聞く



生駒利治議員

## 環境保全

# ノロウイルス対策は 除去方法を試験中

**質問** 大浦、大沢両終末処理場の試験内容と成果は。

**沼崎町長** 大浦の終末処理場では、新日鐵が平成十三年十一月から平成十五年三月まで、光触媒によるノロウイルスの分解性能実験を行い、下水処理水中のノロウイルスを九〇％以上分解できることを確認した。今後の課題として定期的に触媒装置の酸洗浄をしない

と分解効果が低下することと、処理水中に何個までだったら養殖漁場に影響がないのか、消毒目標値の設定の更なる検討が必要なのうである。

大沢の終末処理場では、日立プラントが平成十五年十二月末から、膜分離活性汚泥法によるウイルス除去性能について現地試験を行っている。昨年十二月に

中間報告を受けているが、いずれの試料にもウイルスは認められなかった。これについては、昨年はノロウイルスの発生も少なかったこともあり検出限界付近のデータであることも予測される。そのことから、昨年十二月で現地試験を終了の予定であったが、三月まで、継続の要請があり、現在も現地試験を行っている。



大沢の終末処理場で行われているノロウイルス除去試験装置（生食用カキを生産者が安心して出荷できる浄化方式の確立が求められます）

## 町の考えを聞く



織笠川水門工事は平成22年度完成の予定で進められます（織笠川河口）

## 漁港整備

# 町営漁港の高潮対策を急げ 県工事で行うよう強く要望

### 質問

町内の町営漁港の防潮堤高上げ工事は、既に完成、または着工中であるが、町営漁港の見直しはどうか。特に織笠地区は細浦地区を始め町全体が低地にあるので、その

対策が急務である。町の対応を聞く。

**沼崎町長** 織笠川水門工事が平成二十二年度の完成予定であり、当漁港の防潮堤高上げは、水門の前面施設として整備の重要性は十

分理解をしている。

県との協議に基づく計画では、整備は平成二十三年度から十カ年で、総事業費約十五億円、整備延長千三百三十メートル、現在の堤防の高さ四・八メートルに一・八メートルの高上げを行う予定としている。現時点での整備の見直しは、財政事情が先行き不透明であり、新規事業への着手が非常に難しい状況であるので、去る一月十七日に、県工事を取り組んでもらうよう強く要望しているところである。



鎌田孝典議員

## 高齢者福祉

# 高齢者を支えるケアの確立を

## セーフティネットの構築が必要

②現在、認知症の予防事業として北浜地区、大浦地区をモデルに地元自治会

の協力のもと、レクリエーションなどによる脳活性化教室や、老人クラブの健康教室や「お座敷広場」などに取り組んでいる。今後は「山田町保健福祉計画」及び「第三期介護保険事業計画」を平成十七年度に策定し、予防事業について検討していく考えである。

### 質問

①高齢者を支える安全網を構築する考えはないか。

②認知症の進行を防ぐため、症状の改善や、進行を遅らせる機能訓練など、家族の負担を軽減するためのプランは。

### 沼崎町長

①高齢者の生きがいを図るため民生委員、社会福祉

協議会の協力で、ひとり暮らし、高齢者世帯の見守りや声がけ運動を実施している。今後、高齢者世帯の安否確認などのセーフティネットの構築が必要と考えている。消防署などの関係機関と連携し、支援が必要で世帯の安否確認の体制づくりに努める。



若さを保ち、閉じこもりの防止と認知症を予防するため行われている脳活性化教室(北浜はつらつ教室)

## 町の考えを聞く

### 教育行政

## 体罰・わいせつ行為からどう守る

## 綱紀の保持と指導力向上を図る

①現在、児童生徒を体罰・わいせつ行為からどう守るか。

### 松尾教育長

教員による不祥事が全国的、また県内でも問題になっているが、現在、本町ではそのような問題は発生していない。

絶対起きてはならないことと、教職員の綱紀の保持と指導力向上を図るため、各種研修会を開催している。

具体的には、学校長を対象とした校長会議、教頭を対象とした学校運営研修会、

主任教員を対象とした教務主任・研究主任・生徒主事研修会、一般教員を対象とした授業研修会などを行っている。また、昨年から実施している「教育長学校訪問」で、教職員の綱紀粛正についての日常の取り組み状況について聞き取り調査を行っている。

学校・家庭・地域が一体となって気配りをし、児童生徒を被害から守ることがなにより大切である。みなさまの協力をお願いします。

# 地震津波対策の課題・検討事項は

## 災害弱者の避難対策など検討

### 防災対策



小林 隆 議員

**質問** 地震津波対策について、次の点を問う。

- ① 過去の訓練での問題点は、
  - ② 避難通路の確保と避難標識の設置は、
  - ③ 避難所で耐震診断を必要とする施設は、
  - ④ 緊急物資の確保は、
  - ⑤ 子供達の防災訓練への参加指導は、
- ① 課題、検討しなければならぬ点は、「町民の参加が少ない」「一人暮らしの高齢者や障害者、身体の不自由な人の迅速な避難」「訓練の日時や内容の見直し」などである。
- ② 避難通路は、広報などを通じて地区住民に周知。避難標識は、各地区には設置しているが、設置箇所と数の見直しも必要。
- ③ 該当施設は四施設あるが耐震診断は行っていない。
- ④ 備蓄している非常食は、レトルト食品約一千食、乾パン五百缶、簡易トイレ二千分、毛布六百十枚などである。
- ⑤ 地震津波災害に対する町民の危機意識の低下や風化、クラブ活動への参加のためなど考えられる。PTAや子供会への参加を周知していきたい。



災害弱者の迅速な避難が今後の検討課題  
(昨年行われた総合防災訓練の様子)

## 町の考えを聞く

### 高齢者対策

# お座敷広場の充実を

## 地域の協力体制が必要

**質問** 高齢者はお座敷広場を楽しみにしている。今まで開催した中で参加者は予定の何割が出席しているか。要望があれば増やす考えはあるか。

**沼崎町長** 高齢者の増加により、一人暮らし老人などの閉じこもり防止を図るため、お互いの交流の場を提供し、老人の方々が元気で生きがいを持って暮らせるように、平成十二年度から実施している。七十歳以上の高齢者が対象で、二十三地区で年一回実施している。平成十六年度の参加者は、八百三十六人で、参加率は約三割である。

要望があれば増やす考えはあるかとのことについては、地域の協力体制が必要であることから、今後の検討課題とさせてほしい。

平成十二年度から実施している。七十歳以上の高齢者が対象で、二十三地区で年一回実施している。平成十六年度の参加者は、八百三十六人で、参加率は約三割である。



2月に行われた荒川地区のお座敷広場



在りし日の鈴木善幸先生（平成10年8月に行われた漁港検診）



佐藤忠暉議員

## 教育行政

# 善幸記念館の建立を

## 財源がなく難しい

**質問** 昨年の七月十九日、

第七十代首相、元内閣総理大臣鈴木善幸先生が死去された。岩手県の生んだ五人目の総理で、和の政治を掲げ、至誠ひとすじを貫いた宰相であった。町民はおしなべてこの偉大な英雄に「善幸さん、善幸さん」と親しみを込めて声に出し、尊敬と誇りを感じながら日々生きてきたことだろう。

三陸の水産振興、港湾整備に力を入れ、新幹線や高速自動車道路など、東北の社会資本の拡充にその生涯をかけたことは誰もご存知の通りである。

無私の先人の一人である政治家・鈴木善幸先生の理念と行動を回顧する場として、あるいは、末永くその人となりや実績を勉強する場として、善幸記念館の建立を計画してどうかと考えるが、見解を問う。

**沼崎町長** 記念館建設のためには土地の確保や建物

## 町の考えを聞く

### 教育行政

## 絵本「いのちのまつり」の引用を 道徳でそういう教育も

の建設など多くの財源が必要であり、施設を運営するためには人件費や維持費も必要になってくるが、現在

の町の財政は厳しい運営を余儀なくされており、新たに財源を確保することは極めて難しい状況である。

### 質問

「生きる力をはぐくむ」というその目標達成のため、総合学習は一定の効果があると思うが、子どもたちに命の尊さを理解してもらおうのは、並大抵のことではないようだ。

こどもが「命はなぜ大切なの？」「なぜ、私は生きていくの？」「生きるってどういうこと？」「なぜ私は生きなければいけないの？」「私は死んでも、また生き返るのでしょうか？」などの問いかけに、うまく答えら

れない親が多いときく。

そこで「あなたの命は、こういうことなんだよ」と、子どもに理解してもらっための絵本「いのちのまつり」を引用してどうか。

**松尾教育長** 自分が生まれてきた時の親の気持ち、家族の気持ちを、道徳の時間に親たちに書いてもらい、それを子どもたちに読んで聞かせると、こどもたちの感動はものすごく大きなものである。そういう教育も行わなければいけない。





田村剛一議員

### 総合発展計画

## 新発展計画の構想は

### 審議会で検討してもらおう

示してよいのではないかと。議会で議論された図書館、給食センターなども取り上げるのか。

沼崎町長 先入観をもたせないで、委員会、審議会と一緒に検討し、よいものをつくっていききたい。

#### 質問

町長は、十七年度が第七次発展計画の最終年であり、町村合併五十周年にあたるとして節目の年であることを強調している。すでに第八次発展計画の策定に入っていると思うので、その構想と合併五十周年にふさわしい新事業・行事を考えているかどうか問う。

#### 沼崎町長 第八次発展計画の重点施策については、策定作業に入ったばかりで固まっていない。今後、町づくり委員会、山田町総合発展計画審議会などと協議しながら計画づくりを進め、ある程度形ができた段階で議会に示したい。

合併五十周年事業については、十月二十三日に記念式典を予定しているが、新事業については厳しい財政状況にあり困難である。

#### 質問

新しい発展計画はこれから五年間の山田の町づくりを方向づけるもの。町長は自分の思いをもっと



平成18年度から始まる第8次総合発展計画は、平成22年度を目標年次とする新しい町づくりの指針となる計画です（審議会の様子）

## 町の考えを聞く

### 新施設を活用した町づくりを

### 山田北地区の活性化に期待

#### 地域振興



区画整理事業が進み、山田病院の移転で町の活性化が期待される山田北地区

質問 県立山田病院と特別養護老人ホームの移転新築に関しては町民の関心、期待が大きい。問題は中身、県立山田病院の医療体制はどうなるのか。二施設の建設スケジュールと合わせ聞きたい。

また、両施設を活用しての町づくり、地域おこしも期待されているが、どのように進めるつもりか。

沼崎町長 県立山田病院については、二月中旬に配置図及び計画平面図が県医

療局から示された。施設概要は既に説明しているとおり一般病棟六十床、診療科目は現在と同じ七科目診療、診療体制については、現時点では不明である。

特別養護老人ホームについての詳細説明はまだ受けていない。

これらの施設はいずれも山田北地区に建設されることから山田北地区の街並み形成、まちの活性化に大きく寄与されるものと期待している。



外国語指導助手レベッカ先生による英語の授業の様子（轟木小学校）



木下志き子議員

## 学校教育

# 外国語の指導内容は

## 段階に応じた英語を指導

### 質問 国際理解教育について、外国語によるコミュニケーション能力を育成するため、幼稚園、小学校からの指導を重視し、外国語指導助手の一層の活用に努めるとしているが、次の二点を問う。

- ① 外国語は主として何を指導するのか。また、その指導内容は。
  - ② 幼稚園児、小学生が対象にされていると理解するが、保育園児にはどのように向きあうのか。
  - ③ 外国語指導助手の人数は。
- 松尾教育長**
- ① 外国語は英語である。指導内容は、幼稚園、保育園、小学校段階では英語音の特徴に慣れ親しむことや、英語での簡単な言い回しやコミュニケーションに親しむことを目指し、中学校においては、英語による実践的コミュニケーション能力の育成を目指している。

## 町の考えを聞く

- ② 保育園については、主に幼稚園、小学校の長期休業中を利用して要請に応じて指導していく。
- ③ 英語指導助手の人数は一人である。

### 日蘭交流

## 友好親善記念事業の内容は

### 50周年記念式典と同時期に開催

**質問** 今年度はザイスト市との友好締結五周年記念事業として、日蘭交流友の会などと連携してオランダ週間の開催が予定されているが、どのようなスケジュールなのか、町民の意識高揚のために、どのような活動が展開されるのか。

**沼崎町長** オランダ週間は、山田町合併五十周年記念式典と同時期の開催を考慮しており、ザイスト友好締結五周年についても、十月二十三日の式典の中に組み

入れたい。現在のところ、ザイスト市からは市長、教育担当議員、報道関係者及び山田町との友好事業を展開している財団法人ホフライスからもフレッド・ステインスマ会長をはじめとする方々、駐日オランダ大使が来町する予定である。

オランダ週間中は、ザイスト市の芸術作品を含むオランダの文化などを幅広く紹介し、町民にオランダに対する理解と知識を深めてほしい。



健全経営が持続できる漁協経営を目指し、合併協議が進められています（昨年6月に行われた合併推進協議会の様子）



道又秀悦議員

## 漁協経営

# 町内5漁協の合併への取り組みは

## 合併目指し鋭意作業中である

**質問** 本町の基幹産業である漁業の振興を願っているが、漁業を取り巻く環境は依然として厳しい。

県漁連は、大局的見地に立った組織強化のため県内の漁協を平成十七年度末までに十一漁協とし、平成十九年度末には岩手県一漁協を目指す決意を固めた。

町内五漁協の合併期限は

来年三月末であるが、次の点を問う。

- ① 町内漁協合併への現状は。
- ② 県下各漁協の動向は。

沼崎町長

① 昨年六月十五日以来、各漁協の理事・監事などを委員とする合併推進協議会が四回、参事・総務課長を委員とする専門委員会が十二回開催されてい

## 町の考えを聞く

る。合併推進協議会では財務の現状分析や合併手続などに関する意思疎通が図られ、専門委員会

は合併後の事業計画が検討されている。合併後に健全経営を持続できる事業計画を作り、漁協総会で承認されることを目指し鋭意作業を進めている。

② 平成十七年度末十一漁協を目指し、月二回の頻度で協議が進められていると聞いている。

## 防災対策

# 大沢漁港の防潮堤工事を急げ

## 早期完成に向け努力する

**質問** 昨年十二月二十六日のスマトラ沖地震災害は、町民に新たな防災意識を喚起させてくれた。

大沢地区住民が早期着工を望んできた津波・高潮対策については、ようやく平成十六年度から着手されたが、今後の工事スケジュールはどうか。

沼崎町長 大沢漁港の津

波・高潮対策は県営の海岸保全施設整備事業として平成十六年度から二十五年

度までの十一年で実施される。総事業費は、約三十億円、施設延長は、二千二百六十六メートル、現在の堤防の高さから二・六メートル（かさ）上げし六・六メートルにする予定である。

県では十六年度に測量及び設計業務を行い、今年二月、大沢漁協に対し計画の概要を説明している。地元住民に対する説明会も準備ができ次第、近々開催される予定である。工事は十七年度から詳細設計を進めながら一部着手される見込みである。



山崎幸男議員

## 産業振興

# 強い地場産業の育成を

## 農・漁・商へ積極的に支援

**質問** 合併せず自立を選  
択した本町には、県内外に  
誇り得る優れた産業基盤と  
観光基盤がある。

この基盤を活かして、地域  
の農林漁業と観光を活性化  
させ、明日を担う人づくり  
を行い、元気の出る町づく  
りを宣言すべきと考えるが  
どうか。

**沼崎町長** 大変厳しい財  
政事情の中で地に足のつい

た施策や改革を果敢に実行  
しなければならぬ。

厳しさだけを強調し後ろ  
向きになるのではなく、地  
域にとって必要な課題につ  
いては積極果敢に挑戦する  
気持ちを見失わず、町民との  
協働の作業を重ねていかな  
ければならない。そのこと  
が、町民に元気を出しても  
らえる道と考える。

**質問** 山田町が経済的に

自立するためには、地域に  
根ざした有望な地場産業へ  
は、集中的に支援、投資を  
行い、強い産業に育てて町  
の経済活性化を図るべきと  
考えるがどうか。

**沼崎町長** まさに、その  
とおりである。町では、堆  
肥センターの建設や町内漁  
協への経済支援、山田の魅  
力発信実行委員会への積極  
的な支援など行っている。



畜産経営の支援策として建設された堆肥センター  
(豊間根・繫地区)

## 道路行政

# 豊間根新田橋の改良を

## 毎年要望はしている

**質問** 国道45号の豊間根  
新田橋は老朽化が進んでい  
る。また、幅員が狭く車両  
の大型化に対応できず危険  
である。改良について国に  
強く要望すべきではないか。

**沼崎町長** 拡幅改良につ



老朽化が著しく早期の架け替  
えが望まれる豊間根新田橋

## 町の考えを聞く

いては平成三年度に宮古広  
域市町村長が自民党へ要望  
している。また、平成四年  
度からは、毎年、三陸国道  
事務所に早期の架け替えを  
要望している。昨年の要望  
に対する回答は「よく理解

しているが、架け替えとな  
ると費用がかかるため方策  
を検討している」とのこと。  
今後とも粘り強く要望する。

**質問** 先日の全員協議会  
で私道整備補助金を八割か  
ら五割へ削減する説明が  
あった。削減すると私道整  
備は進まないものと危ぐし  
ている。段階的にすべきでは

**沼崎町長** 急激な削減は  
地域の整備計画に大きな影  
響を与えるため段階的に削  
減する。平成十七年度は現  
行の八割、十八年度は七割、  
十九年度は六割に削減する。

# 水産業振興に向けた努力を

## 意欲的な気運を助成

### 産業振興



日山忠郎議員



新鮮な海産物をPRした「山田カキまつり」  
水産業の新たな振興策として期待されます

**質問** 水産業の振興には販路の拡大が課題であるが、生産者と消費者のコミュニケーションの場を創造することも大切である。町内の漁業者、水産加工業者、漁協、商工関係者、観光業者が連携する産業振興グループの組織づくりを町主導で進めることはできないか。

**沼崎町長** 本町の漁業は、生産者と消費者のコミュニケーションの場が不足していると認識している。

今回、山田の魅力発信実行委員会の主導で開催される「山田カキまつり」は、町内五漁協の生産者が消費

者に水産物をPRする場であり、今後も毎年開催されるよう支援していきたい。

町外への消費拡大は漁業者、水産加工業者それぞれが努力して実績をあげている。友好親善都市の千葉県山田町で開催される「ふれあい祭」には、町観光協会の特産品を仕入れ販売していたが、昨年は一加工業者が保冷車で海産物を持ち込み販売している。このような意欲的な気運を助成し、町内の各業者が共通の目標にむけ結集できるよう町としてコーディネートしていきたい。

## 町の考えを聞く

### 学校教育

# 総合的学習の成果は

## 自分の生き方を考えることができた

**質問** 総合的な学習などで育んだ「生きる力」は、今年度の卒業生の進路に影響が見られるか。

**松尾教育長** 学校からの報告では新教育課程実施前の生徒と比べ、次の点で違いが顕著に見られる。

- ①点数に必要以上に左右されず進路を決めている。
- ②将来の希望が夢のような曖昧なものではなく、具体的である。
- ③先の先まで見通しを立てた上で進路を決めている。

このことは、総合的な学習の時間で自己選択の機会が多くあったこと、また、体験学習を自分との関わりでとらえ直し、生き方を考える機会が多かったことなどが影響していると考えられる。

文部科学大臣から「総合的学習の時間」の適正な授業数の検討など現行の学習指導要領の全面的見直しが必要とされているが、改正がされるまでは現行の指導要領のねらいに基づいた教育を推進していく。



総合学習の時間では、自衛隊からプレゼントされた南極の水で自然のすばらしさを学習しました（山田南小学校）



今定例会では平成17年度の町長施政方針が示されました。施政方針に対する質問には12人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました



三ヶ尻隆雄議員

## 町財政

# 予測がつかなかったのは大きな失政だ 行革大綱見直し改革を推進

**質問** 町長は施政方針で「今日の財政の厳しさは、わずか数年前ですら予測がつかなかった」と述べている。予測がつかなかったのは、大きな失政ではないか。

**沼崎町長** 財政環境が厳しくなることを予測したからこそ、行政改革大綱の見直しを行い、職員定数を十八人減少させる定員適正化計画を策定し、改革を推進してきた。予測を超える厳しさはほとんどの自治体でも感じていることである。

岩手県の例では、平成十五年十月に、「行財政構造改革プログラム」を策定し、平成十五年度から十八年度までの財源不足額を千七百二十三億円と試算し、行革プログラムによって得られる財源を千五百七十三億円とし、なお不足する財源を約百五十億円と発表した。しかし、わずか四カ月後の二月には、三位一体改革により財源不足額は四百四十

## 町の考えを聞く

億〜六百八十億円と三倍から四倍にも増大する事になった。

このことから、今日私達が置かれている環境が理解できるものと思う。

### 地域活動

## 地域への権限委譲を

## 協働の観点から今後の課題

**質問** 地方分権が叫ばれる昨今、コミュニティ活動の一端で、除雪・リサイクル資源回収などの権限（地域分権）を地域に与えると同時に、作業費の一部を現在の除雪費の中から地域の団体に補助金として交付しはどうか。

**沼崎町長** 除雪は、現在町内全域の町道及び主要な生活道を対象として積雪が二十センチメートル以上の場合行うこととしており、

その日のうちに概ね除雪を終了させ、交通の確保を図ることを第一に考えている。

各地の歩道や通学路などの除雪には、地域住民のボランティアによる協力をお願いしたいと考えているが、道路部分までの除雪となると、機械力・安全面・除雪の作業時間・情報の収集など難しいものがあるが、地域との協働という観点から今後の課題として議論したいと考えている。



県では、携帯電話向けに各種の生活情報などをメールで配信するサービスを行っています



黒沢一成議員

## 防災行政

# いわてモバイルメールの活用を

## 防災行政無線と電話で

### 質問

防災無線による放送は風や車両の通行音などで聞き取り難い時がある。県のいわてモバイルメールサービスを利用すれば、火災発生情報や警報の情報を消防団員などの利用者の携帯電話にメールで送ることができる。行政側には情報入力の手間はふえるが活字で情報を確認することができ便利である。利用しては

### 沼崎町長

本町では消防団員への情報伝達は防災行政無線または電話による体制がとられている。

モバイルメールは将来的には一つの手段として有効な方法と考えられるが、現時点では携帯電話への活字情報の提供を行う考えはない。

### 質問

防潮堤を越える大津波がきた場合、交通が寸

断され救援物資を届けられない状態となる。最低でも各学校には非常食、毛布などの備えが必要と考えるが。

### 沼崎町長

毛布は町内二十カ所の避難所に数十枚単位で配備してある。

非常食は役場に備蓄している。各避難所にはストーブも配備する。備蓄については、今後も可能な限り充実を図っていききたい。

## 総務行政

# 職員の適正数は

## 現在の計画では216人

### 質問

役場職員の適正数は何人と考えているか。また、十八年度の新規採用の予定は。

### 沼崎町長

各市町村では財政や行政需要、人口などから自らの責任と権限のも

## 町の考えを聞く



4月1日に行われた人事異動に伴う辞令交付式  
18年度は新規職員の採用が予定されています

デルを作成し、定数適正化計画の指標としている。

本町では平成十二年度の二百三十四人を基準として、平成二十二年度には二百十六人を目標とした定員適正化計画を作成したが、十七年度でこの目標値を超える見込みである。

総務省は本年三月までに新たな定員モデルを示す予定である。それを参考にして十七年度に定数適正化計画を見直す予定である。

十八年度は新規採用を行う方向で検討している。

と、条例で定数を定めている。また、限られた財源を有効に活用するために人員の適正な配置も求められる。国では、人口や標準財政規模、小売業店数などのデータを基準にした定員モ



養殖漁業の振興のため、現在の生産レベルの維持・増大が目標です（「山田カキまつり」養殖いかだ見学から）



佐藤照彦議員

## 漁業振興

# 養殖漁業の生産目標は

## 15億円程度の維持・増大が目標

**質問** 沿岸漁業の振興について次の点を問う。

① 養殖漁業全体の生産目標をどう考えているか。

② 秋サケの資源変動の原因究明、ノロウイルス対策は現在どこまで究明されているか。

沼崎町長

① かつて本町の養殖漁業は、カキとホタテだけで二十

② 秋サケの資源変動は、明

億円以上の水揚げがあった。しかし今日、ホタテ

養殖は衰退し、年間二億円を下回っている。これ

にカキ十二億円、ワカメ、コンブの一億円余を加えて、およそ十五億円程度が現在の生産レベルであり、これの維持と増大が目標になる。

## 町の考えを聞く

### 学校教育

## 学習意欲の低さの原因は

## 「豊かな社会説」など5説

**質問**

① 学習意欲の低さの原因と、意欲の向上にどう努力しているか。

② 学力向上のための具体的な対策は。

松尾教育長

① 学習意欲の低さの原因として主なものは、「豊かな社会」「学歴社会崩壊」「学ぶ意味の喪失」「家庭教育力の低下」「ゆとり教育影響」の五つの説があり、これらがからみあっていると考えている。

よう適期に放流することを指導している。

ノロウイルス対策は、県・県漁連・漁協は対策指針を見直しながら、一体となりウイルスの自主検査を行うなど生食用カキの安全確保に努めている。県の水産技術センターと環境保健センターも研究しているが足踏み状態だ。

学習意欲の向上については、授業の中で「分かった」「できた」という成就感や満足感をもてる授業の実施を基本とし、児童生徒が興味関心を持って、問題解決学習や体験的な学習を実施している。

② 「山田町児童生徒の生きる力を支える基礎基本の徹底第一次基本計画」を発展させた「同第二次基本計画」を作成し、取り組む。



# 自立の町をめざして

予算特別委員会は、三月八日から十一日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。初日には、委員長に佐々木良一郎委員を選出。四日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など九会計の平成十七年度当初予算を審議しました。財政問題や産業振興策など、会計ごとに委員から数多くの質問があり、活発な質疑が交わされました。ここではその審議の概要をお伝えします。

## 総括質疑



4日間に及んだ予算特別委員会  
新年度予算について活発な議論  
が交わされました

### 民間企業研修での 職員の意識改革は

**問** 職員を企業に出向させた効果、意識改革は。電話の応対など向上した点はあるが、声かけ挨拶など不十分な点もある。十人単位で職員と懇談し、厳しい財政状況、職員への風当たりなどを話し、職員一人一人の感想意見を聞いている。

### 機構改革による 総括・評価作業は

**問** 機構改革の総括が遅れている理由は。遅れている訳ではない。機構改革を行ってから一年経過したばかり。

今後、評価作業を進めていく。  
**問** 職員適正化で人数が減っている。どう行政サービスを行っていくか。  
**答** 二年で二十人減ったが、その分、チーム制の導入により対応できている。

### 課のフラット化による 職員の協力体制は

**問** 課のフラット化によりチーム内の協力体制が確立されているか。  
**答** 新しいことを始めたばかり。走りながら直すところは直していく。  
**問** 新年度予算の補正規模はどのくらいを考えたか。  
**答** 当初予想される事業は全て入れて年間予算

### コミュニティ補助 の交付要件は

**問** コミュニティ補助金の交付要件は。  
**答** 事務局長の報酬、管理人賃金を、三地区(大沢・織笠・田の浜)に対して百三十万円を補助している。  
**問** 活動費としての補助であるなら、三地区だけでなく、各自治会に対して助成できないのか。  
**答** コミュニティは地域との協働のために必要である。第八次総合発展計画策定の際の、検討事項であると考えている。「まちづくり委員会」のなかで考

### 第八次総合発展計画 の原案はいつ完成か

**問** 総合発展計画審議会、まちづくり委員会のスケジュールは。委員会の開催回数と、原案の完成はいつか。  
**答** 発展計画審議会は三回、まちづくり委員会は四回開催する予定。原案は十月から十一月にまとめる。

### 「鯨と海の科学館」に 善幸先生の記念館を

**問** 鯨館は十年で一億円の赤字である。今後の

運営をどのように考えるか。  
**答** 善幸先生の資料展示は鯨館がふさわしいと考えている。運営方法の合理化について、現在、検討している。

### 地震・津波対策の 取り組みを急げ

**問** 地震、津波対策の取り組みは。自主防災組織の立ち上げが緊急の課題ではないか。

**答** 緊急物資と飲料水は一応は確保されている。防災資機材などは各防災センターに配備。自治防災組織の整備は力を入れて取り組む。

### ゴミ収集業者の募集期 間に問題がなかったか

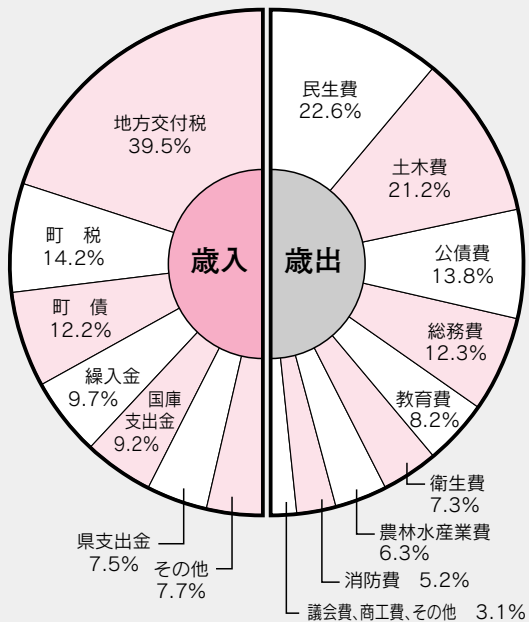
**問** ゴミ収集業者の募集期間に時間的余裕がなかったのではないか。  
**答** ゴミ収集に関する全町調査と広域行政組合との折衝に時間がかかった。車の手配や人員の確保など厳しい面もあるが、可能な期間であったと考える。



織笠婦人会による炊き出し訓練の様子 (昨年の総合防災訓練)

## 平成17年度予算額

◆一般会計 71億6,645万円



### ◆特別会計など

国民健康保険	23億4,304万円
老人保健	16億9,264万円
介護保険	11億9,222万円
簡易水道事業	7,380万円
漁業集落排水処理事業	1億6,960万円
公共下水道事業	3億4,090万円
土地取得事業	6万円
水道事業	収入 2億8,643万円 支出 2億6,922万円

一般 会計

法人税の増加は 景気回復の兆し

問 法人税が増えている。山田の景気は回復傾向にあるのか。  
答 法人税制の納付が伸びているため。これは全国的なもの、山田以外の本社などの実績がね返っていると考えられる。地方消費税交付金が減額された理由。増えている理由は、県から市町村に配分されるものである。町の景気には関係ない。全国的には消費が伸びていると考えられる。

国勢調査の 人口予測は

問 国勢調査の実施時期は。人口動態の予測をどう考えているか。  
答 国勢調査の実施時期は、人口動態の予測をどう考えているか。

納税貯蓄組合の 補助金減額は

問 納税貯蓄組合補助金が減額された理由は。今までは納付額の率により交付していたが、事務費補助に変更したためである。  
答 宮古市の合併により、広域行政組合の負担金はどう変わるか。  
問 内容は協議中であるが、宮古市の合併により各市町村の負担割合は変わってくる。本町の負担金は減るものと予想される。

堆肥センター建設の 最終的な総事業費は

問 堆肥センター建設にかかった事業費は。十七年度に建設する出荷施設で全ての整備が完了する。センター建設などにかかった金額の総額は、出荷施設を含め、四億八千万円である。

観光車道の用地費 支払いは無駄では

問 田の浜から小谷鳥への観光車道の用地に、毎年多額の賃貸料を支払っている。無駄ではないか。  
答 観光車道は、当時の観光客の需要に因應するため、大浦街道がもしもこの時のために整備された。現在は道路としての利用はされていない。指摘のとおり頭の痛い問題。  
問 ヒラメ負担金は恩恵を受けている遊漁者から、国の補助を受け建設さ



水産業と観光の振興を目指し設立された「マリン・ツーリズム山田」町の活性化に期待されます

リハビリ施設整備 補助金の内容は

問 加藤病院リハビリセンター施設の概要と補助金額の根拠は。  
答 宮古地区にリハビリ施設が必要とのことから、国の補助を受け建設さ

町道細浦・柳沢線 整備事業は中止か

問 細浦・柳沢線の休止とは。事業を中止するということか。  
答 県には投資対効果を目指して、問題提起を

海を守るための 具体的な努力を

問 「海を守る会」の位置づけを明確にし、個人・企業・役場がそれぞれ役割を持ち取り組むべきでは。  
答 現在の三件。補助割合は、十七年度は現行どおり八割、十八年度は七割、十九年度は六割としたい。

消防団の充足率 を上げる努力を

問 消防団の充足率を上げる努力を。  
答 地域に根ざした消防団とするため、充足率を上げる努力をする。  
問 今後、防災体制に力を入れるべきでは。  
答 新たに、防災主幹を置く方向で検討している。

地域の力を活用し 津波体験者の話を

問 体験学習で、津波体験者の話を聞かせるなど、地域の力を活用すべき。  
答 大沢小学校では取り組んでいる。他の学校でも取り組むよう考えたい。

豊かな体験活動 推進事業の内容は

問 豊かな体験活動推進事業の内容は。  
答 総合的な学習推進のため、町内の学校がそれぞれ計画を出し実施している。地域に密着した体験学習で、米作り、いかに養殖、郷土芸能などを行う。

問 町道の草刈り委託料がなくなった、十七年度は、草刈りをしないのか。  
答 昨年までは国の補助金を利用し実施していた。今年度は、町道維持補修費により実施したい。

車両の安全確保のため町道の草刈を

問 豊間根地区にある橋はさびて危険だ。補修計画は。  
答 石峠・中村・島田橋が老朽化して危険である。第八次発展計画に盛り込む方向で進めている。



早期の架け替えが望まれる石峠橋（豊間根）

問 運行時間を早めたが、問題はなかと考える。  
答 今後も効率的運行に努める。

反対討論

佐藤忠暉議員 合併せず単独で生きようとする山田町の財政が厳しさをます中、執行部は社会福祉憲章案の改正、下水道料金の値上げなど、市民の負担増となる施策を次々に打ち出してきた。毎日の苦しい生活の中から血税を納める市民の事を思うと、全職員、議員も自分の負担を減らさなければと、給料一〇割カットを提案したが明解な答はなかった。このことに憤りをおぼえ本予算に反対する。

賛成討論

生駒利治議員 先行き不透明な国からの地方交付税と税源移譲、そして一般財源の確保が非常に厳しい中において、「入りを量りて出するを制する」の方針でまさに身の丈にあった予算編成である。また、年間所要額の全てを当初予算に計上し、予算の過不足が分かりやすくメリハリのある予算編成であり、努力と工夫の跡がみられ、ベターに近い予算であると思う。このことから本予算に賛成する。

鎌田孝典議員

厳しい現状の中、前年度比五・三割減でとどまることができたのは努力の成果と思う。第七次総合発展計画事業を計画どおり実施すべく予算配分を行うなど町民に目を向けた予算である。また、豊かな自然を多く含む自然環境づくりの力を注いでいる事もわかる。町民にまさに幸せを実感させる予算であり、本予算に賛成する。



ゲームや作品づくり、体操や歌などを楽しみながら、脳をいきいきさせるための取り組みが行われています（北浜はつらつ教室から）

特別  
会計

国保税の収納率  
95%に向けて努力

**問** 山田町は収納率が県下の市町村で下から三番目である。収納率向上に向けた努力を。

**答** 住民生活課と税務会計課が連携を取り、滞納者の計画的な納税を進め、収納率の向上に努める。

国保税を値上げせず  
今後の運営は可能か

**問** 国保財政調整基金が残り少ない。値上げをしなくても、運営は可能か。

**答** 基金は、現在二億六千七百万円。今年度一億四千五百万円を取り崩す予定。平成十六年度の決算

にもよるが、平成十七年度末の保有額を約六千万円と予想している。経済状況を考えると値上げは難しい。平成十八年度に介護保険の見直しが予定されており、その動向を見たい。

**問** 介護保険料の見直しの予定は。

**答** 現在の標準月額額は、二千九百八十円である。現行のままではやっていけない。まだ決まっていないが、値上げの必要があると考えている。

老人介護施設の  
待機者の数は

**問** 老人介護施設の待機者はどれくらいか。

**答** 平成十六年九月時点で介護老人福祉施設に二十八人、介護老人保健施設に五十一人の待機者がいる。以前は、申し込み順による入所であったが、緊急度に応じた方法に変更した。緊急度の低い人はなかなか入れない現状である。

**問** 介護の世話にならないことが大事である。筋肉トレーニングを行い、筋肉の減少を抑える指導が必要であると考えてるがどうか。

**答** 介護メニユーの改正案にも筋肉トレーニングが取り入れられている。

**答** 在宅介護のため医師の訪問診療充実を

**問** 自宅が家族が介護することは大事であるが、そのためには医師の訪問診療を充実すべきではないか。

**答** 自宅での介護が基本である。山田病院は医師が不足している状況であるが、訪問診療は、月平均で七～八人を行っている。

**問** 山田町全体の下水道の普及率は。山田地区の終末処理場用地取得は。

**答** 七千二百六世帯中、千七十七戸で十四・一割である。山田地区の終末処理場は、十七年度に七千六百六十㎡を取得する。

現山田病院の用地  
取得の状況は

**問** 県立山田病院は新築移転するが、現在の病院跡地の用地取得の予定は。

**答** 現在の山田病院の建物は耐震基準前の建築物である。建物を取り壊し、さら地での買収を申し入れている。

ことば…国民健康保険財政調整基金

国民健康保険の保険給付費（医療費など）や保健事業を行うためのお金が不足した場合に、その不足額を補うために積み立てている資金です。

平成15年度末時点での本町の基金保有高は、約2億6千7百万円となっています。

## 常任委員会所管事務調査 17年度のテーマ決まる

本町議会には、三つの常任委員会があり、毎年、それぞれテーマを決めて本会議が閉会中でも町の事務事業について所管事務調査をしています。3月定例会中に17年度のテーマが次のとおり決まりましたので紹介します。



昨年の所管事務調査の様子（産業建設常任委員会）

### ■総務常任委員会

- 1 山田町地域防災計画見直しの背景と重点施策について
- 2 第8次山田町総合発展計画策定作業の進捗状況について
- 3 納税貯蓄組合の現状と課題について
- 4 救急及び火災等緊急時の対応と課題について

### ■教育民生常任委員会

- 1 介護保険の現状と課題について
- 2 社会福祉施設の管理運営について
- 3 町民の医療と健康について
- 4 国民健康保険事業の運営について
- 5 環境、廃棄物処理、リサイクルについて
- 6 学校教育施設の管理運営について
- 7 学校給食について

### ■産業建設常任委員会

- 1 柳沢北浜地区土地区画整理事業の進捗状況について
- 2 観光振興の施策の取り組み状況と船越家族旅行村の現状と課題について
- 3 家畜排せつ物処理施設（堆肥センター）の現状と課題について
- 4 下水道、集落排水処理施設の整備状況について
- 5 町道及び排水施設の現状と課題について
- 6 水道事業の改良整備について
- 7 業者格付けの見直しについて
- 8 地域産業の活性化策について

## 議員定数検討特別委員会

### 中間報告

議員定数検討特別委員会（昆暉 雄委員長・委員七人）では、十二月九日の初会合から現在まで四回の委員会を開催し、議員定数の調査・検討を進めてきました。

会議の主な内容と意見は次のとおりです。

- ▼第一回（十六年十二月九日）
  - ・委員長などの選出
- ▼第二回（十七年一月二十日）
  - ・県内市町村の議員定数の調査・検討
  - ・今後の委員会の進め方について
- ▼第三回（十七年二月三日）

- ・議員定数についての検討
- ▼第四回（十七年三月十八日）
  - ・議員定数についての検討
  - ・主な意見
  - ・議員定数を削減すべき。
  - ・議員報酬・手当の削減も検討すべき。
  - ・定数が削減されると民意が反映されない。現状維持とすべき。
  - ・委員会としては、次回以降も検討を重ね、六月には最終報告をまとめ、議会に提出することを確認しました。

## 全国町村議長会“自治功労者”

30年勤続で佐々木良一議長が表彰



本町議会の佐々木良一議長がこのほど「自治功労者」として、全国町村議

長会から表彰されました。町村議会議員として三十年以上在職（議長経験がある場合は、議長在職一年を二年として計算）した議員に贈られるもので、第一回定例会初日の冒頭に昆副議長から表彰状と記念品の伝達が行われ、同僚議員から温かい祝福の拍手が送られました。

インタビュー

傍聴席からひもとく



佐藤 静夫さん  
(山田・66歳)

「議会を傍聴されたきっかけは何ですか。」

推せんした議員の一般質問がある聞き出かけました。また、山田町の将来はどうなるのか、最近の議会ではどんなことが話されているのか、把握できればと思います。

「議会を傍聴されての感想はいかがですか。」

議員も一生懸命に質問し、町長も質問に対して、真剣に答弁していました。議員、執行部とも町の将来のため

に、真剣に取り組んでいる様子がかがえました。しかし、議員の中には声が小さく、聴き取りにくい場面がありましたので、大きな声で質問してほしいと思いました。また、答弁の内容が理解できないことがありましたので、明解に回答してほしいと思いました。

「今後、議会または町政に望むことは何ですか。」

財政状況が悪いことばかりいつていては、町の未来がないように思います。新しい取り組みを議会と執行部が一体となって考え、ふるさと山田がもっと生き生きし、活力のある町になるよう、議会も町長も真剣に考えてほしいと思います。さらに議会が活発になるように願っています。

議員出欠表

◎ 病气入院 □ 公務欠席  
△ 遅刻早退 ○ 自己都合

月 日	本会議種別	欠 席 者 等 氏 名
3月3日	第1回定例会	○生駒 利治 △昆 暉雄 (公務)
3月11日	〃	○豊間根 彪

明日の山田が見えてくる

みなさんと議会傍聴を

3月定例会には、18日間で延べ17人の方々が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて、町政課題や町の将来方向が見えてきます。皆さんで議会を傍聴しましょう。

※6月定例会は、6月初旬に開会の予定です。



▼三月二十日開催された「山田カキまつり」は、多くの家族づれで賑わい、日本一の生産量を誇る「殻付きカキ」を始め、豊かな海産物の魅力を味わっていました▼まつりには、漁協や産直組合、商店など約三十団体が出店し、殻付きカキ、ホタテ、ワカメなどの特産品を販売し、入場客との会話もはずみ、活気のある一日となりました。山田湾がまぶしく光って見えたのは私だけではなかったと思います▼日本の「カキ」が育つ、この宝の海を大切に守らなければと強く感じたと同時に、「カキまつり」が町の基幹産業である水産業の振興に、ぜひ、役立ってほしいという気持ちでいっぱいでした▼今年、山田町合併五十周年の記念すべき年です。町民が誇りを持てる町づくりのために、皆さんと共に努力したいと考えています。(道又)